

科目名		授業形態	担当教員名	
身体障害評価学Ⅲ		演習・講義	井上 直樹・大永 寛	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
身体障害領域の作業療法評価の意義、目的、方法について学ぶ。具体的には評価の全体の流れ（検査・測定→統合と解釈→問題点と利点の列挙→目標の立案）、姿勢反射検査、上肢機能検査、協調性検査、摂食・嚥下機能検査、排泄機能検査、画像評価、日常生活活動の評価、QOL・興味・役割の評価、AMPS、COPMについて学ぶ。知識と技術の獲得と両者の統合を目指す。				
授業の到達目標				
1. 身体障害領域の作業療法評価で用いる検査・測定を列挙、説明、実施できる。 2. 評価結果を記録できる。 3. 統合と解釈、問題点と利点の抽出、目標の立案の流れについて説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	評価の全体の流れ①			
2	評価の全体の流れ②			
3	日常生活活動の評価①			
4	日常生活活動の評価②			
5	日常生活活動の評価③			
6	姿勢反射検査			
7	上肢機能検査、協調性検査①			
8	上肢機能検査、協調性検査②			
9	上肢機能検査、協調性検査③			
10	摂食・嚥下機能検査・排泄機能検査			
11	画像評価①			
12	画像評価②			
13	QOL・興味・役割の評価、AMPS、COPM①			
14	QOL・興味・役割の評価、AMPS、COPM②			
15	まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	60%			
レポート・課題	30%	レポート課題の内容で評価する		
小テスト	10%	前回までの授業の復習として、ペーパーテストを授業内に随時実施する		
平常点				
その他				
自由記載	再試験は筆記試験の割合を100%として成績判定する			
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
作業療法評価学 第4版		能登真一 他著	医学書院	
PTOTST標準理学療法学・作業療法学・言語聴覚障害学 別巻 画像評価		宮越浩一 編	医学書院	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
脳画像 標準理学療法学・作業療法学・言語障害学 別巻		前田眞治 著	医学書院	
作業療法がわかるCOPM・AMPSスターティングガイド		吉川ひろみ 著	医学書院	
自由記載				
備考				